

市町村統括保健師研修会
～市町村の統括保健師大集合！生き生きと保健活動を続けるために～
募集要項

1. 目 的

2040 年を見据えた保健活動を推進するにあたり、市町村統括保健師としての実践力の強化を図るとともに、将来に渡る市町村統括保健師のネットワーク構築を推進する。

2. 目 標

〈一般目標〉

市町村の統括保健師として、所属自治体の健康水準の向上に向けて、専門的側面から組織横断的に調整・支援を行い、効果的・効率的な保健活動を推進するための能力を養う。

〈到達目標〉

- 1) 2040 年を見据えた保健活動を推進するために、地域保健を取り巻く社会情勢や施策の動向を理解し、統括保健師としての役割・機能が説明できる。
- 2) 所属自治体における健康課題の組織的な解決に向け、統括保健師として取り組むべき方策を具体的に説明できる。
- 3) 保健活動の向上のため、統括保健師のネットワークづくりの意義を説明できる。

3. 内 容

「市町村統括保健師研修プログラム」のとおり【別紙】

本プログラムは、「事前課題」、集合による研修会（以下「研修会」）、「事後課題」で構成しています。

4. 研修会の日程

2026 年 1 月 24 日（土）～1 月 25 日（日）（1 泊 2 日）※宿泊必須

〔 1 日目：13：00～20：00 2 日目： 9：00～15：30 〕

5. 研修会の会場・宿泊ホテル

「TKP ガーデンシティ浜松町」（ベイサイドホテル アジュール竹芝）

〒105-0022 東京都港区海岸 1-11-2 Tel：03-3437-5566

https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gc-hamamatsucho/?ctid=ad_msa_kk0101

6. 受講資格（対象者）

以下の 1)、2) に全て該当する者

- 1) 市区町村の統括保健師、又は統括的立場にある保健師
- 2) 事前課題・事後課題を含む本研修のすべてのプログラムを受講できる者

7. 定員

100 名

8. 受講申込期間

2025 年 10 月 16 日（木）～11 月 14 日（金）

9. 受講申込方法

受講専用フォーム（URL もしくは QR コード）より申し込みください。

【受講専用フォーム（URL）】

<https://u-sys.yupia.net/jna-hokenshi/>

【受講専用フォーム（QR コード）】



10. 受講決定

- 1) 受講資格の確認を行い、受講の可否を決定します。

なお、応募多数の場合は、都道府県ごとの申込に偏りがないよう受講者数を調整する場合があります。

- 2) 2025 年 11 月末を目途に「受講決定通知」をメールにてお送りします。

11. 事前課題・事後課題について

受講にあたり、以下ご対応ください。

●事前課題

内容	提出方法
自己評価シート①事前学習前 ※事前課題に取り組む前に自己評価を行ってください	11 月末にお知らせする【フォーム】に入力
基本情報シート	11 月末にお知らせする指定のメールアドレスにファイル添付にて提出のうえ、研修会当日受付に写しを提出
【様式 1】組織見える化シート	
【様式 2】統括保健師 課題焦点化シート ※可能な範囲でご記入ください	<提出不要>研修会当日に使用します ※本様式は 3 つの統括保健師の役割・機能を深めるために演習で使用予定。
※様式 2 を参照の上統括保健師の役割・機能のうち本研修会で取り組みたいものを 1 つ考えておいてください	上記 11 月末にお知らせする【フォーム】にてご意向を伺います

●事後課題

内容	提出方法
【様式 3】統括保健師 行動計画シート追記	2026 年 6 月末（メールにて提出）
自己評価シート② 研修後	2026 年 6 月末（予定） 後日お知らせするフォームに入力

12. 受講証明書

研修会の全日程を受講された方には、「**研修会受講証明書**」を発行いたします。

13. 受講経費

参加費：25,000 円（税込）

- 1) 参加費には、ホテル宿泊費（1/24）、飲食費（1/24:夕食、1/25：朝・昼食）が含まれます。
- 2) 「受講決定通知」のメールにて本会指定の振込口座をご連絡いたしますので、期日までにお振込みください。
- 3) 当該参加費の領収書（参加者名宛）を、研修会会場にてお渡しします。
- 4) 参加に掛かる旅費、参加費に含まれない費用（ホテル内の冷蔵庫や電話代等）はご自身でご負担ください。

前泊（1/23）や後泊（1/25）が必要な場合は各自手配ください。

14. 申込のキャンセル

やむを得ず受講申込を取り消される場合には以下の連絡先にメールでお知らせください。

取消しに際し、宿泊先ホテル側のキャンセルポリシーに基づく所定のキャンセル料が発生することをあらかじめご了承ください。

1) 連絡先

①【2 日前まで】株式会社ユピア

jna-hokenshi@yupia.net

②【前日・当日】日本看護協会

hokenshi@nurse.or.jp

2) キャンセル料

受講日の 60 日前（11/25）から発生します。詳細は以下の通りです。

60 日前～31 日前まで：10%、30 日～15 日前まで：50%、

14 日～2 日前まで：80%、前日・当日：100%

なお、返金の場合には手数料を差し引いた額を指定の口座にお振込みいたします。

15. 個人情報の取り扱い

取得する個人情報について、個人情報の保護に関する法律を遵守するとともに、以下のとおり個人情報保護方針を定めて遵守します。

<https://www.nurse.or.jp/privacy/index.html>

16. その他

本研修会の公開・配信、受講者以外への資料の提供は行いません。

17. 問い合わせ先

【研修会の受講申込に関すること】

株式会社ユピア

Mail：jna-hokenshi@yupia.net

電話番号：052-872-8101（平日 10 時～16 時）

【その他研修内容に関すること】

公益社団法人 日本看護協会 健康政策部 保健師課

Mail：hokenshi@nurse.or.jp

令和 7 年度厚生労働省保健指導支援事業

市町村統括保健師研修プログラム

■「事前課題」に取り組む前

以下 2 点について、11 月末にお知らせします指定のフォームに入力ください。

- 「自己評価シート ①事前学習前」
- 統括保健師の役割・機能のうち本研修で取り組みたいと思われるもの 1 つ 選択（当日のグループ分けの参考にさせていただきます）

■事前課題

ねらい	学習方法・内容等	実施時期 提出時期等
統括保健師の役割・機能を発揮するうえで必須となる知識を習得する。	1 文献学習 ・地域保健対策の推進に関する基本的な指針. 2025. 3. 7 ・地域における保健師の保健活動について. 2013. 4. 19 ・日本看護協会：「保健師活動指針活用ガイド」. 2014. 3 ・厚生労働省委託：「令和 5 年度地域保健対策・保健師活動ワーキンググループ報告書」2024. 3. 29 ・日本公衆衛生協会：「地方公共団体における効率的・効果的な保健活動の展開および計画的な保健師の育成・確保について」（分担事業者：曾根 智史）総合報告. 2019. 3 ・日本看護協会出版会：看護管理学習テキスト第 3 版 第 4 巻「組織管理論」2025 版. P30～36, P71～99 ・厚生労働省：「新たな地域医療構想等に関する検討会」とりまとめ. 2024. 12. 18 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_47465.html	【実施時期】 決定通知後～研修会まで ※提出不要
2040 年を見据えて求められている保健師の保健活動のあり方を理解する。	2 厚生労働省：「2040 年を見据えた保健師活動のあり方に関する検討会」 令和 7 年度 （※令和 6 年度は地域保健総合推進事業として開催） https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-kenkou_128580_00015.html	
所属自治体の組織構造を可視化し、保健師の配置状況や統括保健師の所掌範囲、意思決定等の現状を確認する。	3 「基本情報シート」、「【様式 1】組織見える化シート」の作成 ・組織構造、所掌範囲 ・保健師の配置状況、施策の意思決定ルート等の現状等 ・所属自治体の統括保健師の配置（位置づけ）	【実施時期】 決定通知後～研修会まで 【提出時期等】 11 月末に指定のメールアドレスにファイル添付にて提出のうえ、当日受付に以下の写を提出 ・基本情報シート ・様式 1
	4. 「【様式 2】統括保健師 課題焦点化シート」 ※ 可能な範囲でご記入ください	※提出不要 研修会当日に使用します

■研修会

【2026 年 1 月 24 日（土）：1 日目】

●12 時 45 分：研修会場 集合

●12 時 50 分：オリエンテーション・ファシリテーター紹介

時間	テーマ・学習方法	到達目標（ねらい）	講 師
13:00	開 会		
13:00～13:40	【講義】 2040 年を見据えた地域保健 施策の動向と保健師活動	統括保健師として保健師 関連の国の動向を理解す る。	厚生労働省健康・生活 衛生局健康課 保健指導室長 後藤 友美
13:40～14:20	【講義】 2040 年に向けたこれからの 保健師活動を牽引する市町村 統括保健師の役割・機能と期待	これからの市町村の保健 師活動を推進するうえでの 統括保健師の役割・機 能を理解する。	日本看護協会 副会長 勝又 浜子
14:20～15:00	【講義】 自治体の組織運営と統括保健 師に求められる調整力	行政の組織運営におい て、統括保健師に求めら れる調整力への理解を深 める。	八王子市福祉部 部長 菅野 匡彦
15:00～15:10	休 憩		
15:10～17:00	【演習Ⅰ】（グループワーク） 統括保健師としての現状と 課題 ・自己紹介 ・自治体の組織体制 （様式 1：組織見える化シート） ・現状・課題の分析（SWOT 分析）	行政組織や保健活動の現 状を踏まえ、健康課題を 組織的に解決するための 統括保健師の役割・機能 を理解するため、現状の 活動を振り返る。	日本看護協会 常任理事 松本 珠実 ファシリテーター
17:00～17:30	1 日目のまとめ 2 日目に向けたオリエンテーション		日本看護協会 常任理事 松本 珠実
17:30～18:00	休憩		
18:00～20:00	【ワールドカフェ】 2040 年を見据え、統括保健師 としての取組みのヒントを得 よう ・2040 年における保健師活動の イメージ化 ・そのために必要な条件は何か ・統括保健師としてどのように 取り組むか	・2040 年を見据えた保健 活動を想定し、必要な取 組についての理解を深 め、意見交換を通じて仲 間の取組から示唆を得 て、自らの統括保健師と しての取組みのあり方につ いて考える。 ・統括保健師として、情 報共有や活動を推進する ためのネットワークを構 築する。	〈参加者〉 受講者 講師 ファシリテーター

【2026 年 1 月 25 日（日）：2 日目】

時間	テーマ・学習方法	到達目標（ねらい）	講 師
9:00～9:30	自己学習：「様式 2:統括保健師 課題焦点化シート」の作成		
9:30～10:15	【講義】 自治体の政策形成を担う保健師の役割	統括保健師に求められる政策形成能力と方策について理解する。	同志社大学政策学部 総合政策科学研究科 教授 真山 達志
10:15～10:35	【講義】 統括保健師による人材育成・人事管理	市町村における人材育成・確保のあり方、人材の配置、現任教育における統括保健師の役割について理解を深める。	日本看護協会 常任理事 松本 珠実
10:35～10:55	【実践報告】 統括保健師による組織横断的な取組・調整の実際	統括保健師の組織横断的な取組みや調整方法等のイメージを深める。	滋賀県守山市 健康福祉部 専門員 小川 靖子
10:55～11:55	【演習Ⅱ】（グループワーク） 統括保健師として取り組むべき課題の明確化 ・現状の確認 ・取り組む課題の明確化 （様式 2：統括保健師_課題焦点化シート）	統括保健師として取り組まなければならないことを焦点化（言語化）する。	日本看護協会 常任理事 松本 珠実 ファシリテーター
11:55～12:05	【演習Ⅲ】 統括保健師としての実践に向けた方策 ・演習Ⅲの説明・進め方	統括保健師としての目指すべきゴールを設定し、役割・機能を発揮するための行動計画を立案する。	日本看護協会 常任理事 松本 珠実
12:05～13:20	自己学習：「様式 3：統括保健師_行動計画シート」の作成 昼 食		
13:20～15:00	【演習Ⅲ】（グループワーク） 統括保健師としての実践に向けた方策 ・統括保健師の行動目標・計画の立案 （様式 3：統括保健師行動計画シート）	・統括保健師としての目指すべきゴールを設定し、役割・機能を発揮するための行動計画を立案する。	ファシリテーター
15:00～15:20	研修総括（全体会） 事後課題	・研修での気づきや学びを共有・統合する。	日本看護協会 常任理事 松本 珠実
15:20～15:30	事務連絡 閉会		

■事後課題

ねらい	学習方法・内容等	実施時期
統括保健師としての役割・機能を発揮できる	●【様式 3】統括保健師 行動計画シートの作成 ・統括保健師としての自組織での行動計画を完成する	2026 年 2 月末
	●【様式 3】統括保健師 行動計画シートへ実施状況等の追記 ・自組織での行動計画に基づき実施した内容と成果、促進要因を記載する。	2026 年 3 月～ 2026 年 6 月
	●自己評価シート②（研修後）の記入	2026 年 6 月 30 日 （予定）



事後課題の終了後、本会へご提出ください。

【提出時期】

2026 年 6 月末（予定）

【提出内容・方法】

内容	方法
・【様式 3】統括保健師 行動計画シート ※実施した内容と成果、促進要因を記載したもの	<u>以下のメールにてお送りください。</u> 【送付先】 公益社団法人日本看護協会 健康政策部保健師課 E-Mail : hokenshi@nurse.or.jp
・自己評価シート ②研修後	ご記入いただいた自己評価シートの内容をもとに、後日お知らせする指定のフォームに入力ください。

※提出されたシート、自己評価シートは本研修プログラムの評価として活用させていただきます。返送はいたしませんのでご了承ください。

※ 事後課題については以下を推奨いたします。

- ・自組織の上長に提出し、評価・フィードバックを得る。
- ・管轄保健所の市町村担当の保健師または都道府県庁の統括保健師のいずれかに研修成果を情報共有する。

【本研修プログラムの各様式】

- 基本情報シート（P. 10～11）
- 様式 1～3（P. 12～14）
- 自己評価シート①事前学習前、②研修後（P. 15～18）

基本情報シート

記入日：令和 年 月 日 参加 ID：

所 属： 氏名：

1. 概 要

	市町村	データ年次	備考
人口	人	R. .	
世帯数	世帯	R. .	
面積	km ²	R. .	
高齢者人口	人	R. .	
高齢化率	%	R. .	
産業別 就業人口	第1次産業 人 (%) 第2次産業 人 (%) 第3次産業 人 (%)	R. .	
地域包括 支援センター	() 箇所 【内訳】直営 () 箇所 委託 () 箇所		
学校	小学校 校 中学校 校 高校 校	R. .	
統計	出生数： 人 出生率千対： 合計特殊出生率： 死亡数：	R. .	

2. 市町村の健康課題・特徴等

(裏面へ)

3. 特に力を入れている保健活動や、よい取り組み等

4. 自分自身が統括的役割を果たす上で取り組んだこと

【様式1】「組織見える化シート」

記入日：2025 年 月 日

参加ID：

所 属：
(※市町村名も記入)

氏 名：

保健師数(常勤)：〇〇人(2025年〇月)※産休・育休中含む
(非常勤)：〇〇人
保健師の配置部所数：〇部、〇課、〇係
自身が関与している部所数：〇部、〇課、〇係

〇統括保健師の役割について事務分掌への明記の有無：有・無
(明記されている場合、内容を記入)

<記入方法>

- 保健師全員の配置状況を確認する。
 - ・保健師の配属部所すべてを図におとす。常勤保健師配属部所に★印と人数を記入。非常勤保健師配属部所に☆印と人数を記入。
 - ・産休・育休中の保健師数は括弧の中に人数を記入。
 - ・統括保健師に◎印、次期統括保健師に○印、保健師が管理職として配置されている部所には◇印と職位を記入。
- 保健活動の政策・施策化、事業化の決定ルート、協議の場を太い線で示す。
- 統括保健師として「伝達・協議」、「助言や意見具申」、「政策・施策化、事業化の決定ルートにのせるための調整」、「決裁や権限、業務の采配」を行っているところを二重線の矢印(→)で示す。
- 統括保健師としての所掌範囲(自分が関わることができている範囲)を丸で囲む。
- 事実関係を客観的に見て、今後、統括保健師として積極的に働きかけたいところを点線で囲む。または、点線の矢印で示す。

公益社団法人 日本看護協会

記入例

令和7年度厚生労働省保健指導支援事業「市町村統括保健師研修」

【様式1】「組織見える化シート」

記入日：2025 年 月 日

参加ID：

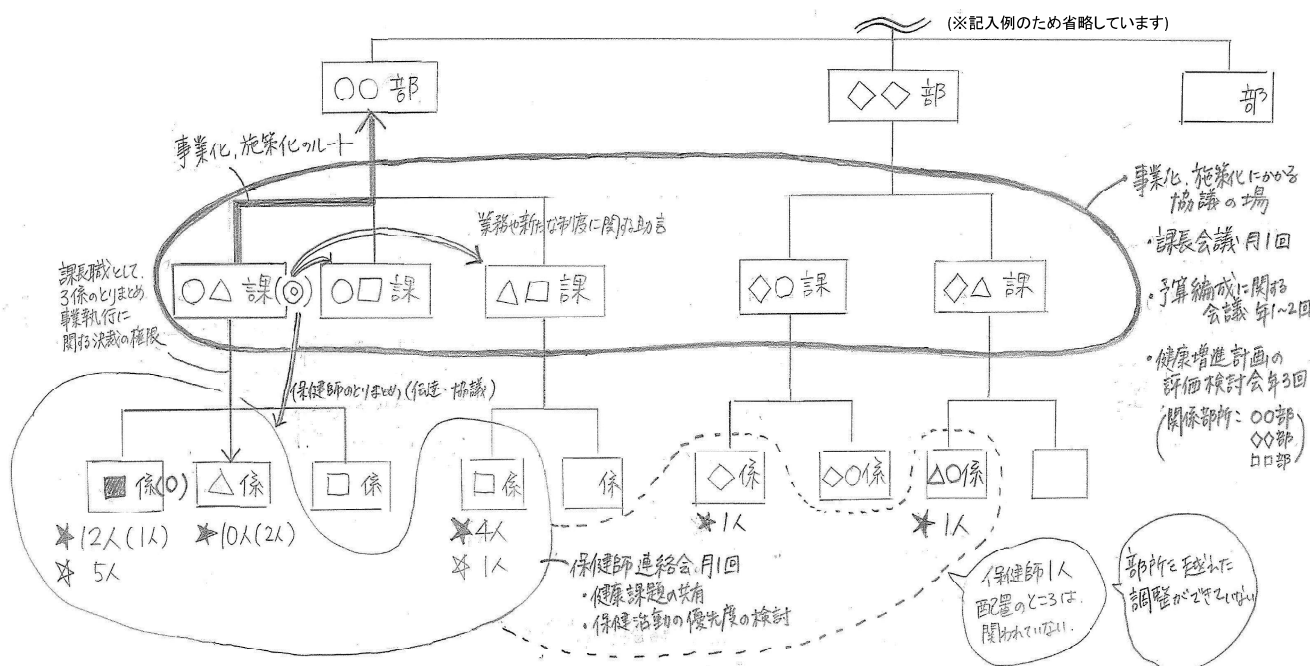
※受講決定通知にて
確認し記入して下さい。

所 属：
(※市町村名も記入)

氏 名：

保健師数(常勤)：〇〇人(2025年〇月)※産休・育休中含む
(非常勤)：〇〇人
保健師の配置部所数：〇部、〇課、〇係
自身が関与している部所数：〇部、〇課、〇係

〇統括保健師の役割について事務分掌への明記の有無：有・無
(明記されている場合、内容を記入)



【様式1】「組織見える化シート」

記入日： 2025 年 月 日
所 属：
(※市町村名も記入)

参加ID：
氏 名：

保健師数(常勤)：〇〇人(2025年〇月)※産休・育休中含む
(非常勤)：〇〇人
保健師の配置部所数：〇部、〇課、〇係
自身が関与している部所数：〇部、〇課、〇係

〇統括保健師の役割について事務分掌への明記の有無： 有 ・ 無
(明記されている場合、内容を記入)

公益社団法人 日本看護協会

【様式2】「統括保健師 課題焦点化シート」

記入日： 2025 年 月 日
所 属：
(※市町村名も記入)

参加ID：
氏 名：

	統括保健師としての役割・機能		
	保健活動を推進するための組織横断的な総合調整、技術的及び専門的側面からの指導・助言	人材育成に関する組織上の課題を踏まえた、保健師の計画的な人材育成やキャリア形成の推進	健康危機管理に備えた体制整備に向けた保健活動の調整
①統括保健師に期待されていること			
②上記①の実施状況（できていること、できていないことは何かを整理する）			
③上記②が起きている原因（なぜできていないのか）を明らかにする			
④統括保健師として取り組んでいきたいこと			

【様式3】「統括保健師 行動計画シート」

記入日： 2025 年 月 日
所 属：
(※市町村名も記入)

参加ID：
氏 名：

課題	目標 (あるべき姿)	行動計画	評価指標	実施した内容と成果 (できたこと)	促進要因

※枚数制限はございません。

自己評価シート ①事前学習前

参加ID: 所属: 氏名: 記入日: 年 月 日

1. 以下は、統括保健師が組織的に位置づけられ、その中で役割・機能を発揮するプロセスを構造化して評価項目としています。
下位目標1)～16)および統括保健師として担うべき役割:10)～①から14)～②について「どのくらい達成できているか」をお考えいただき、現在のご自身の状況を6段階で自己評価してください。
当てはまる数字に○を付け、その理由についてもご記入ください。

本研修の目標	下位目標 (本研修で達成すること)	達成状況	
		6段階(当てはまる数字に○をつけて下さい)	○を付けた理由(必ず記入)
1. 2040年を見据えた保健活動を推進するために、地域保健を取り巻く社会情勢や施策の動向を理解し、統括保健師としての役割・機能が説明できる	1) 統括保健師の役割・機能が理解できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	2) 統括保健師の必要性が理解できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	3) 統括保健師の組織的な位置づけを理解できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
2. 所属自治体における健康課題の組織的な解決に向け、統括保健師として取り組むべき方を具体的に説明できる	4) 統括保健師として自組織で果たさなければならない役割・機能が認識できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	5) 統括保健師の役割・機能、位置づけ、自身が果たすべき役割が他者に説明できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	6) 統括保健師として、行政組織や保健活動の現状について説明ができる。	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
3. 保健活動の向上のため、統括保健師のネットワークづくりの意義を説明できる	7) 行政組織や保健活動の現状を踏まえ、統括保健師として取り組むべき課題について説明ができる。	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	8) 2040年を見据えた保健活動を推進するための統括保健師の取組みについて考えることができる。	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	9) 統括保健師として、情報共有や活動を推進するためのネットワークづくりの意義が理解できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	

目標	下位目標 (本研修を経て達成すること)	統括保健師として担うべき役割	達成状況	
			6段階(当てはまる数字に○をつけて下さい)	○を付けた理由(必ず記入)
4. 統括保健師としての役割・機能を発揮できる	10) 地域全体の健康課題の明確化や保健活動の優先度を検討する体制を整えることができる		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
		10)～①(統括保健師として)保健師全体で自治体の健康課題を共有する機会をつくる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
		10)～②(統括保健師として)保健師全体で保健活動の優先度を検討し、決定する機会をつくる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
		10)～③(統括保健師として)保健師全体で保健活動の目標を検討し、決定する機会をつくる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
		10)～④(統括保健師として)保健師全体で保健活動の評価について共有する機会をつくる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	11)「地域全体の健康課題」「保健活動の優先度」を政策・施策化、事業化の決定ルート(ライン上)にのせるための調整を行なうことができる		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
		11)～①(統括保健師として)組織内上層部や関係部所と健康課題や優先度、活動目標を提案する機会をつくり、理解を得る	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
		11)～②(統括保健師として)議員やマスメディア、他機関等の所属組織の外に対して健康課題や優先度、活動目標についてチャンスを逃さずに説明する	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
		11)～③(統括保健師として)優先される保健活動の財源や資源の確保に向けて調整する	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
			5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	12) 個々の保健師の専門性を育むために、成長に合わせた適材適所への配置、今後経験すべき業務が判断できる(キャリア形成支援)		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
			5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
			5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
			5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
			5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	13) 計画的なジョブローテーションを含み、人材育成を推進できる		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
		13)～①(統括保健師として)保健師の体系的な人材育成の方針を検討・作成する体制をつくる(既存のものがある場合は見直しを含む)	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
		13)～②(統括保健師として)各期にある保健師の現任教育を実施する体制をつくる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
		13)～③(統括保健師として)保健師の成長を見据えて、適材適所への配置計画が立案できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
		13)～④(統括保健師として)人材育成の観点から保健師のジョブローテーションを組織に提案し、理解を得る。	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	

目標	下位目標 (本研修を経て達成すること)	統括保健師として担うべき役割	達成状況	
			6段階(当てはまる数字に○をつけて下さい)	○を付けた理由(必ず記入)
4. 統括保健師としての役割・機能を発揮できる	14) 保健師の計画的な配置や採用に関与できる		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
		14)ー①(統括保健師として)保健師の計画的な配置や採用に関する案を根拠に基づき作成する	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
		14)ー②(統括保健師として)保健師の計画的な配置や採用に関する案を人事担当部所や保健師配属部所に提案し、理解を得る	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
5. 組織の中で統括保健師としての位置づけを確保できる	15) 統括保健師として、保健師仲間に認められている		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
		16) 組織の中で、統括保健師として認められている	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	

2. 統括保健師として活動する際のご自身の強み・弱みについて伺います。
 上手く行うことができていること、苦手なこと、今後強化していきたいことを自由にお書きください。

【引用・参考文献】嶋野洋子、鈴木浩子、真崎直子．市町村統括保健師の役割遂行尺度の開発．日本公衆衛生雑誌 2013;60(5):273—284

公益社団法人 日本看護協会

自己評価シート ②研修後

参加ID:

所属:

氏 名:

記入日: 年 月 日

1. 以下は、統括保健師が組織的に位置づけられ、その中で役割・機能を発揮するプロセスを構造化して評価項目としています。
下位目標1)～16)および統括保健師として担うべき役割:10)～①から14)～②について「どのくらい達成できているか」をお考えいただき、現在の自个身の状況を6段階で自己評価してください。
当てはまる数字に○を付け、その理由についてもご記入ください。

●研修会修了後:当日

本研修の 目標	下位目標 (本研修で達成すること)	達成状況	
		6段階(当てはまる数字に○をつけて下さい)	○を付けた理由(必ず記入)
1. 2040年を見据えた保健活動を推進するために、地域保健を取り巻く社会情勢や施策の動向を理解し、統括保健師としての役割・機能が説明できる	1) 統括保健師の役割・機能が理解できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
	2) 統括保健師の必要性が理解できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
	3) 統括保健師の組織的な位置づけを理解できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
	4) 統括保健師として自組織で果たさなければならない役割・機能が認識できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
	5) 統括保健師の役割・機能、位置づけ、自身が果たすべき役割が他者に説明できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
	6) 統括保健師として、自行政組織や保健活動の現状について説明ができる。	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
	7) 自行政組織や保健活動の現状を踏まえ、統括保健師として取り組むべき課題について説明ができる。	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
	8) 2040年を見据えた保健活動を推進するための統括保健師の取組みについて考えることができる。	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
	9) 統括保健師として、情報共有や活動を推進するためのネットワークづくりの意義が理解できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
2. 所属自治体における健康課題の組織的な解決に向け、統括保健師として取り組むべき方策を具体的に説明できる			
3. 保健活動の向上のため、統括保健師のネットワークづくりの意義を説明できる			

●研修会修了後:6月中を目途

目標	下位目標 (本研修を経て達成すること)	統括保健師として 担うべき役割	達成状況	
			6段階(当てはまる数字に○をつけて下さい)	○を付けた理由(必ず記入)
4. 統括保健師としての役割・機能を発揮できる	10) 地域全体の健康課題の明確化や保健活動の優先度を検討する体制を整えることができる		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
		10)～①(統括保健師として)保健師全体で自治体の健康課題を共有する機会をつくる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
		10)～②(統括保健師として)保健師全体で保健活動の優先度を検討し、決定する機会をつくる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
		10)～③(統括保健師として)保健師全体で保健活動の目標を検討し、決定する機会をつくる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
		10)～④(統括保健師として)保健師全体で保健活動の評価について共有する機会をつくる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
	11)「地域全体の健康課題」「保健活動の優先度」を政策・施策化、事業化の決定ルート(ライン上)にのせるための調整を行なうことができる		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
		11)～①(統括保健師として)組織内上層部や関係部所と健康課題や優先度、活動目標を提案する機会をつくり、理解を得る	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
		11)～②(統括保健師として)議員やマスメディア、他機関等の所属組織の外に対して健康課題や優先度、活動目標についてチャンスを見逃さずに説明する	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
		11)～③(統括保健師として)優先される保健活動の財源や資源の確保に向けて調整する	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
	12) 個々の保健師の専門性を育むために、成長に合わせた適材適所への配置、今後経験すべき業務が判断できる(キャリア形成支援)		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
	13) 計画的なジョブローテーションを含み、人材育成を推進できる		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
		13)～①(統括保健師として)保健師の系統的な人材育成の方針を検討・作成する体制をつくる(既存のものがある場合は見直しを含む)	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
		13)～②(統括保健師として)各期にある保健師の現任教育を実施する体制をつくる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
		13)～③(統括保健師として)保健師の成長を見据えて、適材適所への配置計画が立案できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
		13)～④(統括保健師として)人材育成の観点から保健師のジョブローテーションを組織に提案し、理解を得る。	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	

●研修会修了後:6月中を目途

目 標	下 位 目 標 (本研修を経て達成すること)	統括保健師として 担うべき役割	達成状況	
			6段階(当てはまる数字に○をつけて下さい)	○を付けた理由(必ず記入)
4. 統括保健師としての役割・機能を発揮できる	14) 保健師の計画的な配置や採用に関与できる		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
	14)~①(統括保健師として)保健師の計画的な配置や採用に関する案を根拠に基づき作成する		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
	14)~②(統括保健師として)保健師の計画的な配置や採用に関する案を人事担当部所や保健師配属部所に提案し、理解を得る		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
5. 組織の中で統括保健師としての位置づけを確保できる	15) 統括保健師として、保健師仲間に認められている		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	
	16) 組織の中で、統括保健師として認められている		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない -----	

●研修会修了後:6月中を目途

2. 事前学習前に記載していただいた「統括保健師として活動する際のご自身の強み・弱み」について、研修会終了後のご自身の活動を踏まえて、どのように変化しましたか。どのくらい克服されたり成長されたか、ご自身の思いも含めて、自由にお書きください。

【引用・参考文献】嶋野洋子、鈴木浩子、真崎直子、市町村統括保健師の役割遂行尺度の開発、日本公衆衛生雑誌 2013;60(5):273—284

公益社団法人 日本看護協会